

## NEDO グリーンイノベーション基金事業

「CO<sub>2</sub>を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト」を実施する  
コンソーシアム「CUCO（クーコ）」に参画し、環境性能と耐久性を兼ね備えた  
高炉スラグ高含有カーボンネガティブコンクリートの技術開発に着手

日鉄セメント株式会社は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）「グリーンイノベーション基金事業／CO<sub>2</sub>を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト」を実施するコンソーシアム「CUCO（クーコ）」※に参画しています。

CUCO は 2030 年までを目標に革新的カーボンネガティブコンクリートに係る開発を進めており、当社はこのたび、環境性能と耐久性を兼ね備えた高炉スラグ高含有カーボンネガティブコンクリートの技術開発に着手しました。

※ 鹿島建設(株)、デンカ(株)、(株)竹中工務店を幹事会社とする 55 の企業・大学・研究機関によるコンソーシアム

本技術は、高炉スラグを多量に含む ECM（エネルギーCO<sub>2</sub> ミニマム）セメント製造時の CO<sub>2</sub> 発生量の削減と、炭酸化（CO<sub>2</sub> 固定型）混和材や CCU（CO<sub>2</sub> 回収・利用）骨材の活用による CO<sub>2</sub> の吸収・固定によって、カーボンネガティブコンクリートの実現を目指すものです。



当社は、本技術の開発を進めるコンクリート研究分科会の構成会社として、主に、寒冷地など様々な環境を想定した耐久性（耐凍害性、耐塩害性等）の評価により、環境性能と耐久性を満足するカーボンネガティブコンクリートの開発を担当します。

コンクリートの劣化には、コンクリート中の水分が凍結融解を繰り返し、凍結時の水の膨張により損傷を受ける凍害や、海岸構造物等で塩化物イオンの作用により鋼材が腐食し、コンクリート構造物に損傷を与える塩害等があります。このような環境下でも、長期間供用可能なカーボンネガティブコンクリートの実用化に向け取り組んでいきます。

当社は CUCO のメンバーとして、革新的なカーボンネガティブコンクリートの開発を進め、社会に実装していくことにより、サステナブル社会の実現に貢献してまいります。

◆日鉄セメント株式会社ホームページ <https://cement.nipponsteel.com/>

◆CUCO ホームページ <https://www.cuco-2030.jp/>

<報道機関からのお問い合わせ>

日鉄セメント株式会社 総務課

電話：0143-44-1693